

／ 今週は、ホテルbuffe招待券をプレゼント ／

ちいき新聞

2025年
7月18日号
野田版
VOL.904
発行部数37,000部
購読料無料 / ホスティング
毎週水・木・金曜日
配布

HAPPY MEDIA 地域みっちゃく生活情報誌

ちいき新聞の外壁塗装

厳選業者を無料で紹介

0120-033-231

9:30~18:00(日曜定休)



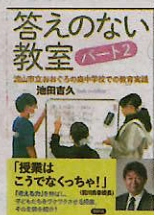
東証グロス市場(証券コード:2164)

総発行部数1,742,640部 全40版 0120-152-337 受付/平日10:00~18:00 ※土日祝日は休み noda@chiki.news.co.jp



3人で考えて正解を導き出し、手を挙げるグループ

「答えのない教室 パート2」
(新評論/税込2,420円)



昨年3月に出合った1冊の本が、池田教諭の授業スタイルを変えるきっかけと

なりました。『答えのない教室——3人で考える「算数・数学の授業」(梅木卓也・有澤和歌子著、新評論)』を読んで、「これだ!これなら生徒もワクワクしながら取り組める」と思いました。

ワクワクする授業教室の雰囲気一変

中学1年生の数学を担当することになり、授業を通して「生

流山市立おおぐろの森中学校で実施

考える力育む授業

「答えのない教室」が書籍化

流山市立おおぐろの森中学校が取り組んでいる「答えのない教室」の実践記録が本になりました。「考える力」を伸ばすための新しい授業スタイルとは?



1年生の数学の授業で「答えのない教室」を実践する池田教諭(6月27日、同校で)

3人での学習が鍵、全教科で採用計画
数学の「答えのない教室」では、生徒が3人ずつのグループになって話し合い、ホワイトボードを活用しながら課題に取り組む方式。池田教諭は「考えることを楽しんでいる生徒を見て、私自身がワクワクしています。学力も上がりました」と喜びます。

生徒たちの思考力、判断力、表現力を伸ばすにはどうしたらいいか悩んでいた1時期でした。週4時間のうち3時間は教科書を中心とした指導に充て、残りの1時間を「答えのない教室」にすることを提案。新学期から実施すると、教室の雰囲気が一変しました。

昨年度は数学を中心に理科、社会、美術の4教科で「答えのない教室」を実施しました。今年度は全教科に拡大する計画で、前川秀幸校長は「全教科バージョンを本にしたい」と話します。

今回の本には、数学と理科の授業における15の教育実践を収録。授業内容や進め方を決めた背景、教室の様子、生徒たちの反応などを紹介しています。
「授業はこうでなくっちゃ!」。前川校長が「答えのない教室」を見て口にした感想が、本の帯を飾るキヤッチ「コピー」になりました。(秀)

おおぐろの森
中学校HP



1回(30分) 無料のウォーターパーク

虫が家に侵入してくる前に! ちいき新聞限定価格